

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和7年 6月号

「できる力」を育てるために

1学期の折り返しである6月を迎えました。新年度が始まり、行事が続き、季節の変わり目でもあるため、少しずつ疲れが溜まってくる季節でもあります。日々、「楽しかったです。」「疲れました…。」「心配です。」「嬉しかったです。」など、様々な思いを話す子供たち。毎日様々な気持ちを抱えながら、前向きに頑張る子供たちを、今後も応援していきたいと思います。

さて、子供たちと関わる中で感じていることは、ステップ教室で学習することでもある「苦手なことに挑戦」というのを、いかに実現させるか、ということです。うまくいかず、ついつい怒ってしまうことも少なからずあるかもしれません。そこで今回は、少しでも「やる気が出る」方法を一部ご紹介したいと思います。

①集中できる環境作りをする。

「好きなことは、長時間やるけど、苦手なことは続かない」という話をよく耳にします。そこでステップでは課題に取り組む前に、かかる時間を見積もったり、どんな条件でならできるかを試したりしています。

見積もって、実際にかかった時間を提示することで「意外と早く終わった」「もう、そんなに時間が経ったの？」と時間感覚が育ちます。また、条件を整理する（朝と夜、晩御飯前と後、どこでやるか、タイマーを使うなど）ことで、集中しやすい条件を知るきっかけになります。

②上手にリラックスする。

「休憩中にゲームをした。そしたら、やることが終わらなかった。」多いですね。実は、ゲームやテレビは、脳に刺激が入るため、休憩にはならない、とされています。「いい休憩」は、脳を休ませることが大切です。

おすすめなのは、「なにもせず、ぼーっとする」「リラックス効果の高い曲（バロック音楽がいろいろあります）を聴く」「ラジオ体操をする」などが挙げられます。お子さんの様子を見ながら、色々試してみてもいいかもしれません。

引用・参考文献：絵で見て分かる発達の子の「ひとりできる力」が身につく実行機能トレーニング 著者：高山恵子

6月の学習予定

- ・アルゴ
- ・ころがしドッジ
- ・インカの黄金
- ・話し合いキッズ
- ・ランキングゲーム
- ・サーキット運動
- など



<4、5月はこんなことをしました>

【タイミングを合わせて】

ペアになって、体の様々な部位（手・腕・方・背中）で風船を挟み、決められたコースを歩いていきます。挟む力や体の動きを合わせるための、動きの確認や声の掛け方を確認してから、活動しました。

どんな声掛けが有効か頭では理解できていても、実際に行うのは難しいようでしたが、徐々に「もう少し力を入れて（抜いて）」「せーの」「1、2、1、2…」と声を掛け合いながら、歩幅を合わせるなど動きを合わせるコツを理解しながら、取り組む様子が見られました。



【なんでもビンゴ】

大抵の方々が一度は経験したことのある「ビンゴゲーム」を「友達と答えが合いそうな答えを考える」「丁寧な言い方で、互いに質問し合う」ことをめあてに活動しました。グループの実態に応じて、ビンゴのテーマを「色」「動物」「野菜」「都道府県」と難易度を調整します。

「これなら、友達も書いてくれるかな」と、他者意識を働かせる児童たち、本番では「〇〇さん、ゾウはありますか？」「はい、あります。」「ごめん、ありません。」と丁寧なやり取りをする様子が見られました。

「書いている人がいて良かった。」「こっちにしておけば良かった。」と相手の気持ちに立つ大切さを実感していました。



【おねがい】

- 7月23日(水)～7月29日(火)の期間に、ステップ三者面談を行います。詳細は、別途配布する希望調査のお便りをご覧くださいの上、期日までにご提出をお願いいたします。
- 指導日に連絡ファイルを忘れた児童には、クリアファイルに連絡帳を入れて渡しています。クリアファイルの返却をお願いいたします。
- 水泳の時間割が始まります。水泳の授業とステップの授業が重なったら、基本的に水泳の授業に参加することになります。ご承知おきください。